

当たり前前

所沢市立中央中学校

三年 森永 久美

私たち学生はさまざまな支えがあつて、今充実した生活が送れている。その生活が「当たり前」だからこそ、これまで税のことについてあまり興味をもつてこなかった。その、「当たり前」な生活がなぜ安心して送ることができるのか。それを税を元に考えてみた。

まず、私たち学生が通っている学校から考える。毎日、当然のように通っている学校だが、ここには多くの支援がある。学校には、国民全員がかならず、平等に教育を受けられるよう、多くの税金が使われている。教科書や机、いすなど、普段使っている一つ一つの物が税金によってまかなわれている。私たち学生が学びやすいように税金によって整備されているのだから、普段以上に物を大切に、綺麗に扱っていききたいと思つた。

次に、私たち国民がなぜ安全に暮らしているのかを考える。税金は、犯罪の防止や社会の安全と秩序の維持など、私たちの身のまわりを守ってくれている仕事に使われている。また、私たち国民が便利に暮らせるように、公共施設が整備されていたり、危ないことがあつたら警察官や消防車がすぐに駆けつけてくれるようになっていて。守ってくれている人がいるから、私たち国民は安全に生きれている。だからこそ、その感謝を心に、

税金について考えることが大切だ。「当たり前」に生きることができているのはもちろん、私たちを守ってくれている人のおかげでもあるが税金のおかげでもあることを忘れてはいけな思つた。

次に、国民の義務について考える。税は国を維持し、発展させるために欠かせない物のため、憲法では税を納めることを国民の義務とされている。三大義務の一つでもある。また、税は国民主権のもとでの税になっているため、国民の暮らしを一番に考えたものだ。

このように、私たち国民は税のおかげで暮らしやすく、安全な生活が保たれている。これまで難しいものだと思ひ、興味をもつてこなかったけれど、税金によって、多様な人々や自分が助けられているのだと気づくことができた。今回気づくことができた事を踏まえて、今後の生活に活かし、自分が成長した時でも、税に誇りを持ち、納められるようにしたい。